

ここまで来た!?

武器見本市の真実

～「死の商人」がのさばる日本でいいのか～

院内集会 & 政府交渉

千葉県有施設である幕張メッセで今年5月、通算5回目となる武器見本市「DSEI Japan 2025」の開催が強行されました。過去最多となる450以上の企業・団体が出展し、そのうち、パレスチナでジェノサイドを継続するイスラエルからは、22の企業と2つの政府機関が出展しています。

防衛省や経済産業省、外務省、警察庁などの政府機関が後援しており、国家事業であることは明白です。しかし自民党を除き、国会議員や地方議員が軒並み入場を拒否されました。さらにメッセでの展示内容に責任を負うはずの県職員は、前回までは視察の立場で入場できたにもかかわらず、今回はわざわざ一般参加の手続きを強制されました。

次のDSEIが、2027年4月28～30日にメッセでの開催を予定しているとも言われています。

問題だらけの武器見本市。いったい何が起きているのかを学習し、さらにその問題点を政府（防衛省、外務省、経済産業省）に問う場を設けます。ぜひご参加ください。

2025年

10月29日

水

14時～17時

13時30分通行証配布開始

衆議院第1議員会館
第6会議室

講演 國崎万智さん



5月に幕張メッセで開かれたDSEI Japan 2025でどんな展示がなされていたのか、当日取材した内容をお聞きします。

ハフポスト日本版記者。人権に関わる社会問題を取材。「お巡りさん、その職務質問大丈夫ですか? ルポ日本のレイシャル・プロファイリング」(ころから)著者。レイシャルプロファイリングを巡る一連の報道で2023年度新聞労連・疋田桂一郎賞、第1回国際文化会館ジャーナリズム大賞特別賞を受賞。

解説 杉原浩司さん



なぜいま武器見本市が日本で大規模に開催されているのか、何が問題なのか、端的に解説します。

武器取引反対ネットワーク(NAJAT)代表。平和構想研究会、STOP大軍拡アクション等でも活動。『地平』10月号ガザ虐殺2年座談会に参加。共著『戦争ではなく平和の準備を』(地平社)、『亡国の武器輸出』(合同出版)



2025年5月、DSEI Japanに対する幕張メッセ前の抗議集会でダイ・インする参加者。

2025年5月、DSEI Japanでのイスラエル社エルビット・システムズのブース。小型自爆ドローン「SkyStriker」が吊り下げられている。



14時～主催者あいさつ

14時05分～國崎さん講演

14時25分～杉原さん解説

14時45分～質疑応答

10分休憩

15時10分～防衛省・外務省・経産省との交渉

16時40分～振り返りと行動提起

主なプログラム

#幕張メッセでの武器見本市反対

武器見本市って 何をする場所？

売り手は武器を造る世界中の軍需企業。買い手は武器を必要とする世界各国の政府や軍関係者。どれだけ合理的に人を殺せるかをアピールし、武器売買の商談が行われます。

戦場で 証明済みです

イスラエル
ラファエル社

2019年11月に幕張メッセで開かれたDSEI Japanで、出展した企業のコメント (YouTube・TBS NEWS DIG「武器企業in日本のセールストーク」より)

「使われ 成熟し
戦場で証明済みです

我が社の ミサイルは安価で 百発百中です

イギリス
BAE社

武器企業のセールストーク

ワンショット・ワンヒット
(百発百中)兵器ですから

戦車やミサイル、銃器など、 いわゆる武器の実物やレプ リカが展示されていた

2024年2月22日、
千葉県議会で黒野副知事の答弁

今年は 「急拡大」!?

2025年5月のDSEI Japan 2025は出展450社、来場者数1万4000人以上の、過去に比べて「急拡大」の規模だと報じられました。日本が「武器市場」としてますます注目されています。

防衛省、防衛装備庁、経産省、外務省が後援。以後毎回。

公式ガイドブックに「日本国憲法が近年『改正』されたことにより、日本が武器売買の場として格好の地となった」とウソ記載。

- 2017.6 MAST Asia 2017
- 2019.6 MAST Asia 2019
- 2019.11 DSEI Japan 2019
- 2023.3 DSEI Japan 2023
- 2025.5 DSEI Japan 2025

民間人を多く巻き添えにするドローンや非人道的なAI兵器、核兵器の製造企業も出展。

65カ国、250社以上参加。うち14社がイスラエル企業。

過去最多の450以上が出展。うちイスラエルから22社と2政府機関。

世論で 止めよう!

2023年3月の武器見本市で、イスラエルの大手軍需企業が日本の商社と協力覚書を交わしました。これに対し抗議と中止を求める世論が高まり、1年足らずで破棄に追い込みました。

エルビット・システムズ
HPより



破棄へ



2023年3月のDSEI JAPANへの抗議アクション



何度でも抗議の声をあげます！
ぜひごいっしょに！



2025年1月に千葉県へ署名提出

県有施設である幕張メッセでの武器見本市を巡り、3月に再選した熊谷千葉県知事は「恣意的な判断で貸し出さないとする法的根拠はない」「中立公正に運用していく」と述べて、「武器見本市にメッセを貸さない」という要求を真っ向から拒否しました。

武器見本市にはイスラエル企業が多数出展してきました。イスラエルのネタニヤフ首相には、パレスチナの人々への戦争犯罪などの疑いで国際刑事裁判所から逮捕状が出ています。イスラエル企業に商機を与えることは、イスラエルによるジェノサイドへの加担にもなります。これを「中立公正」といえるのでしょうか。「戦争」という手段によらずに紛争を解決する道を追求する」と約束した『非核平和千葉県宣言』にも反します。

安保関連法に反対するママの会@ちば
幕張メッセでの武器見本市に反対する会

mnw.chiba@gmail.com
2025.4発行、25.10改訂



◀参考動画 <https://youtu.be/7A9P5VcEmtY?feature=shared>
講演「武器見本市という憲法的大惨事」(25.2.15)
杉原浩司さん(武器取引反対ネットワーク=NAJAT)